

令和4年度事業評価書（令和3年度事業）

評価事項	評価項目	評価	評価内容
教養文化の向上	量的な視点からサービスは適切に行われたか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	年間開催回数は、前年度実績を大幅に上回っており、新規事業も15事業開催している。
	質的な視点からサービスは適切に行われたか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	著名アーティストによるコンサートや声優ワークショップ等、質の高いイベントを開催している。
	地域的な広がり、維持が適切に行われたか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	松ノ浜グリーンフェスティバルやダンスマルシェ等、地域の人々が数多く参加したイベントが開催された。
	ステップアップ促進が適切に行われたか	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	狂言教室や落語教室などのステップアップ企画が開催され、子ども高座では、見事な出来栄で、子供の大きな成長につながっている。
情報発信	量的な視点から適切に情報発信が行われたか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	あすと通信、あすと子ども通信、SNS等を活用して積極的な情報発信が行われている。
	質的な視点から適切に情報発信が行われたか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	本年度から公式LINEを開設し、文字や画像による効果的な情報発信を行っている。

	情報発信の方法は、適切であったか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	あすと通信のホームページへの掲載、公式 LINE のチャット機能を活用したターゲットを絞った告知を行い、各事業の申し込み受付に活用している。
地域支援	量的な視点から適切に地域支援が行われたか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	地域の子育て支援事業は継続事業に加えて、新たな取り組みを行っている。
	質的な視点から適切に地域支援が行われたか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	利用料金の免除・減額など、支援団体が支障なく活動が行えるように支援を行っている。
	地域支援の方法は、適切であったか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	支援団体の活動を多様な視点からサポートしている。
市民ニーズへの対応	市民ニーズの把握と満足度向上への取り組みは適切に行われたか。	<p>適切に行われた</p> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	従来のアンケートやミーティングに加えて、SNS を活用して直接ユーザーの声の収集に取り組んでいる。

<p>事業計画とコンセプトとの整合性</p>	<p>策定された事業計画は、文化の自分化創造館を実現する・具体化する取り組みとして適切であったか。</p>	<p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 適切 ほぼ適切 適切ではない </p>	<p>地域文化芸術の活動拠点、発信拠点としての活動に加えて、芸術分野では、多様な次世代人材育成事業に取り組んでおり、当ホールの事業コンセプトの実現に寄与している。</p>
	<p>策定された事業計画の実施によって具体的な成果（アウトカム）が上がっているか。</p>	<p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 上がっている どちらとも言えない。 上がっていない。 </p>	<p>地域のダンス・イベントの活性化、地域のアーティスト支援を通じた芸術活動の活性化、などの成果につながっている。</p>
	<p>PFI 事業者の実施体制は、文化の自分化創造館を実現する・具体化する取り組みとして適切であったか。</p>	<p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 適切 ほぼ適切 適切ではない </p>	<p>JTB グループのネットワークを活用した新たなコンテンツの開発・提供を行って、事業コンセプト実現に寄与している。</p>

事業についての講評：

2021 年度は、2020 年度に引き続きコロナ禍での制約がある中、新規事業を含めた多様な取り組みを行っている。また、今年度からは、従来のアンケートやミーティングに加えて、SNS を活用して利用者のニーズを直接的に把握し、ニーズに沿った新規のイベント開催につなげている。特に、芸術分野での多様な取り組みは高く評価できる。

その一方で、当ホールの事業基本方針である、地域文化資産の活用と新たな資産の開拓、次世代人材の育成、を実現するためには、泉大津市独自の伝統文化の継承と発展に向けた取り組みを強化することが望ましい。具体的には、REIWA 盆ダンスの取り組みだけでなく、泉大津市の伝統産業である繊維産業の次世代人材を発掘する場として当ホールを活用する取り組みを提案したい。例えば、市内の繊維関連企業の方々や商工会議所の協力を得て、泉大津の伝統的な繊維製品の良さはもちろん、現代のファッションのニーズに沿った新製品の展示と製作体験の場を提供するイベントを定期的に開催していただくことで、地元の若者に泉大津の繊維産業に興味をもってもらい、その中から、将来の繊維産業の担い手を掘り起こすことができれば、素晴らしいことだと考える。将来の泉大津の経済を活性化できるのは、芸術文化よりもむしろ、産業文化である。泉大津の地場産業である繊維産業に新たなイノベーションを起こして、地元の経済の発展と雇用の創出に貢献できる若手人材の発掘を期待したい。

PFI 事業者への提言、提案など

上記の提案内容と基本的に同様であるが、その実現のためには、JTBコミュニケーションデザイン社の持つ、地域活性化プロモーションのノウハウも十分に活用できると考える。